

産地だより

産地に行つて、見て、交流してきました！

コープやまぐちでは、全国の産直生産者さんと組合員さんの交流を続けながら、お互いの信頼関係を築き、商品づくりに励んできました。今回は、10月から11月に訪れた産地について、参加された組合員さんのレポートをご報告します。

コープやまぐちでは「産直三原則」をもとに産直活動を展開しています。

産直三原則

- 産地・生産者が明確です
- 肥育・肥培方法・管理が明確です
- 生産者との交流が行われています



▲このマークが目印です。

桃・大葉

(山口県萩市)

10月7日

有田さんが桃の栽培を始められたのは、今から約40年前。東京ドーム約半分の広さの果樹園で、できるだけ農薬を使わず、土づくりに手間をかけて桃の栽培を続けられています。早くもぎせずに木でじっくり熟させて糖度を上げ、一番良い状態で出荷されているとのこと。

通常の収穫前に100個ほど目で、糖度を確認してから収穫されていますが、物流のシステム上、納得のいく状態のまま組合員さんの手元に届かないこともあり、ジレンマを抱えられているそう。「組合員さんに納得のいく美味しい桃をお届けしたい。次の生産に活かすために、お気づきのことがありましたら遠慮なくご意見をお願いします」とおっしゃっていました。



▲根の張りも管理された、有田さん自慢の桃園。



有田さんの桃
※予約販売を5月頃
宅配にて企画予定。



大葉
宅配予定
毎週取扱

有田農園の大葉

は、大葉の花を咲かせて種を採って栽培されています。桃と同じく土づくりに手間をかけ、水が途切れると病気や虫が付きやすくなるため水やりにも気を遣いながら収穫されます。「一年通して美味しい大葉を届けたい」と有田さん。大葉の旬は夏ですが、生育に時間がかかる冬の寒い時期も、ハウスにつきつきりに対応されています。

元氣な土で愛情を込めて作られている桃と大葉。安心安全はもちろんのこと、美味しさと、有田さんの思いを感じながらいただきたいと思います。



▲前列左から2・3番目が有田さんご夫婦。

山川みかん 樺嶋グループ

(福岡県みやま市)

10月26日

生産地は、福岡県と熊本県の県境に位置する、古くからみかんの栽培で有名な町です。「山川みかんの酸味と甘さのバランスは、みかす」と生産者の樺嶋さん。秋はかつお節の煮粕や昆布粕、春は米ぬかや魚粕などを混合した肥料を土壌に撒き、樹が土から栄養をしっかりと吸収できる畑づくりをされています。

山川みかんは元々小ぶりなみかんですが、今年が天候不順のため、さらに一回り小ぶりの出来栄え(※見学当時)。11月頃から甘みがのってくるそう、美味しいみかんをお届けできると思うとのことでした。小ぶりで茎が小さいみかん



▲みかんの洗浄や選別の様子を見学し、箱詰め体験を行いました。



みかん
宅配予定
1月2回
店舗
取扱い

が美味しいいらしいですよ。ぜひ、チェックしてみてください。

収穫時期の人手不足もある中、農薬の使用も出来るだけ少なく、努力しながら生産を続けていく難しさを語りながら「勉強も楽しいし、こんなにもこだわられるのは利用して下さる組合員さんがいるからです」と言われた樺嶋さんの言葉を、1人でも多くの組合員さんに伝えていきたいと感じました。



▲今年の交流会には41名の参加がありました。



▶生産者の樺嶋さん親子。



▶収穫作業体験の様子。

人参・たまねぎなど

長崎ライフグリーン 農法生産組合(古川商店)

(長崎県島原市)

11月
13日

「ジュース用人参」という商
品名はご存知の方が多くので
は？実際に視察で人参ジュース
をいただきましたが、人参だけで作られて
いるとは思えないほどの甘さと「コク！」も
ちろんジュース以外にも使っていただ
い「OKです」とのことでした。

古川商店の人参の甘さの秘密は「ライフ
グリーン農法」にあります。ライフグリー
ンとは、石川県の医王山という山から採れ
るガラス系岩石(メノウ水晶を含む)で、天
然組成の土壌改良材です。ライフグリー
ンで健康に育った作物は糖度が高く、ミネラ
ル分が多く含まれるという特徴があるそ
うです。この岩石を粉末にしたものを主原
料に、有機質肥料やピーモア(コウモリの
糞などを含んだ肥料)などを加え、土づく
りを行っています。
植物にとって大切な
な栄養分を作る微
生物が住みやすい
土壌を作ることで、
より健康な作物が
育ち、安全で安心
な栽培を実現して
います。



▲人参畑にて収穫の様子を見学。



人参
(ジュース用)
宅配予定
1月2回



サラダ
たまねぎ
※11月中旬～12月中旬に企画

「秋に新たなたまねぎを食べられたら……と
いう斬新な発想で栽培しているサラダ玉
ねぎはちよつと収穫時。いち早く柔らかく
みずみずしいたまねぎを頂けるのは、古川
商店の皆さんの努
力のおかげです。

代表取締役の江

島勇太郎さんは、
交流の中で「商品
の販売についても
悩む一方で、常に
考えて動くのが楽
しかったりもしますね。農業は一生勉強で
す。今まで、『辞められても仕方がない』と
思うほどの失敗があっても、生産者の皆さ
んが『次はどうしましょうか』と次のやり
方を聞きに来て
くれるんです。
本当にありがた
いなと思いま
す。生産者の皆
さんの頑張りが
宝です」と笑顔
で語ってください
ました。



▲サラダたまねぎの収穫の様子。
収穫はすべて人の手で!



▲古川商店の皆さんと。

トマト・人参・ごぼうなど

肥後農産出荷組合

(熊本県)

11月
14日

まずお伺いしたのは、トマト
の生産者である永松さんのハ
ウス。夏のトマトが40〜50日で
育てられ、味があっさりしているのに対し、
冬のトマトは約2ヶ月の時間をかけてじつ
くり作るの、コクがあつて美味しいのだ
そうです。今年は特に虫の被害や台風の影響
もあり、苦労したという永松さん。「変
わっていく環境の中で、今後も安定して生
産できるのかな、という不安は常にありま
す。国内の多く
の農家が同じ
不安を抱えて
いると思いま
す。皆さん家計
の予算内で出
来る限り、国産
の商品を買う
割合を少しで
も増やしていただき、生産と消費の良い循
環をつくれたらいいなと感じています」と
お話しいただきました。



▲トマト収穫後のハウスは
メロンの栽培に活かされるそうです。

次に人参「オランジエ」や大根の生産者で
ある米田さんを訪問。「雨が少なく土が
硬くなり、きれいな形の人参ができにく
くなりますが、甘くて美味しい人参をお届け
できるよう、日々努力しています」とこの



トマト
宅配予定
毎週取扱



ごぼう
宅配予定
毎週取扱

と。収穫した作物
を洗う作業場
には、熊本地震の
ときにきたヒビが
残っていました。当
時は水も止まった
そうで、大変な苦
労をされたことを
改めて実感しました。



▲床に震災時のヒビがありました。

最後にごぼうの生産者の奥村さんを訪
ねました。ここで作られているごぼうは水
田ごぼう。「一年中ごぼうが販売できるよ
うに、年に4回収穫しています。今年は梅
雨が明けてから虫がつきやすく、夏の間冷
蔵庫で保管する等の対応が必要でした」と
奥村さん。

土地に根ざして、作物・土づくりに熱い
思いを持って、安心安全な野菜を作ってく
ださる生産者さん
たち。買うことで
しっかり守って、継
続して、つながる
「産直」を他の組合
員さんへ伝え、少し
でも利用につなげ
たいです。



▲奥村さんご夫婦を囲んで。

あなたの家族にも迫っているかも…

消費者トラブルに要注意!

消費者のより良いくらしを目指すコープやまぐちでは、今までも組合員さん自身が様々な消費者運動や取り組みを行ってきました。今回はコープやまぐちと関わりの深い「NPO法人消費者ネットやまぐち」の石村さん、川上さんと弁護士佐伯先生に、最近増えてきている消費者トラブルの手口や対処法などをお聞きしました。



消費者ネットやまぐち
石村真奈美さん(左)、川上満津美さん(右)
弁護士 佐伯奉文先生(中央)

消費者ネットやまぐちとは

消費者トラブル防止への啓発活動
などや夜間無料法律相談会などを行
っている特定非営利活動法人。コー
プやまぐちは団体会員として協力し
ています。

現在、個人会員も募集しています。

お問い合わせ
083・923・5614

社会経済情勢の変化に伴い、消費者問
題は多様化・複雑化し、悪質商法の手口は
巧妙化しています。消費者相談件数は
2010年以降は減っていましたが、また
じわじわ増えてきています。2018年
の消費生活相談件数は101万8千件。
11年ぶりに100万件を超えました。(令
和元年版消費者白書より)

今回は最近私達の身近で起きている
消費者トラブルの事例と対策を紹介し
ます。

「簡単に稼げる」に要注意

若い人が巻き込まれることが多いの
が、「スマホ一つで簡単に稼げる」とうた
う副業サイトや仮想通貨、FX、バイナ
リーオプション(※)、投資などのトラブ
ル。「稼げる方法を教えてあげる」と言っ
て高いお金を請求される手口です。

※オプション取引を元にした金融商品の一種

こんな対策を

簡単に儲けられる、無料で手に入る
などの話はまず怪しいと思って間違ひ
ありません。このような話を持ちかけ
られたら、十分に警戒して、飛びつく
前に必ず信頼できる家族や
友人、消費者センター等
に相談しましょう。

必ず頭に置いて
おかないとイケない
のは、「甘い話は無いこ
と」のことですね。



心当たりのない 注文メールに気をつけて

「ご注文いただいた商品を送るので、
代引きで払ってください。商品発送後の
キャンセル・返品は不可。受取拒否は、送
料・事務手数料などを請求します」とい
う宛名の無いメールが届いて、心当たり
がない場合は返信するように書いてあり
ます。

こんな対策を

身に覚えのないメールに返信する
と、お金を請求されたり個人情報を知
り出されたりする可能性があります。
「発送前にキャンセルすればいいの
かな?」と安易に返信しないようにしま
しょう。万が一商品が届いたら、業者
名や連絡先を書き留めてから、受取拒
否してください。不安に思ったら、消
費生活センターに相談しましょう。

通信販売のトラブルは 年齢問わず

スマートフォンを使う高齢者層が増え
てきたためか、定期購入など通信販売に
関わるトラブルは年齢層関係なく相談が
多いです。「初回無料」「お試し500円」
などの広告を見て一回だけのつもりで商
品を購入する
と、数回買わな
いと解約でき
ない定期購入
だったという
事例がありま
した。



何で!?

こんな対策を

通信販売にはクーリング・オフ制度
がありません。商品注文する前に、
定期購入になっていないか、中途解約
や返品はできるかなど、しっかりと確
認しましょう。